広報サイレン

編　集
釧路北部消防事務組合
広報委員会
令和７年４月１日発行

消防本部　(015)482-3276
弟子屈消防署　(015)482-2073
標茶消防署　(015)485-2021
鶴居消防署　(0154)64-2344
川湯支署　(015)483-2216



令和６年６月22日、弟子屈町摩周観光文化センターで「弟子屈町消防創設百周年記念式典」を挙行しました。大正13年に北海道より公設弟子屈消防組の認可を得て、弟子屈町消防が創設され、本年で100周年の節目を迎えることが出来ました。式典では藤田茂消防団長が代表し、弟子屈町消防の発展に貢献された関係者の皆様に感謝の思いを伝えるとともに、全国各地で猛威を振るう大規模災害に対応すべく、消防職団員が一致団結し更なる消防活動向上のため邁進することを約束しました。

第52回 全国消防救助技術大会へ組合から２名が出場!!

令和６年８月23日、各都道府県の予選を勝ち上がった救助隊員が一同に会して行われる「全国消防救助技術大会」が千葉県市原市（会場：千葉県消防学校）において開催されました。

当組合から北海道代表として「はしご登はん」の部に標茶消防署　竹林達海消防士が、また「ロープブリッジ渡過」の部に鶴居消防署　石井圭司令補が全国大会に出場しました。この大会は消防救助技術の向上を目的として開催されているもので、参加した２名の隊員は全国の救助隊員と競い合い、技術力と精神力など多くのものを得ることができた大会となりました。







釧路北部消防事務組合、年頭の恒例行事である消防出初式が令和７年１月４日弟子屈、５日標茶・鶴居において行われました。各出初式では観閲式、分列行進、伝統のはしご乗り・まとい振りが披露され沿道の観客を魅了しました。令和７年の無火災及び住民の安心安全を願い、消防職団員一同団結を固め更なる職務の遂行を誓いました。



令和七年 消防出初式

令和6年 秋季演習

弟子屈

令和６年10月６日、川湯温泉地区で弟子屈町消防秋季演習を実施しました。火災が発生しやすい季節を前に川湯消防庁舎前で観閲式・分列行進を行い、総合訓練では旧川湯保育園職員室から出火、延焼拡大した想定で消防車両５台が出動し一斉放水を行いました。消防職団員48名が参加し、地域住民に消防力披露と防火思想の高揚を図ることが出来ました。





標　茶

令和６年10月６日、標茶消防署庁舎前で標茶消防団・署秋季演習を実施しました。模擬火災訓練では標茶消防署を火災現場と想定し、要救助者の救助と消火活動を目的とした訓練を実施しました。参加した消防職団員は節度ある動きで訓練に励み士気向上と連携強化、地域住民の防火思想の高揚を図ることができました。

鶴　居

令和6年9月7日、鶴居球技場で鶴居消防秋季消防演習を実施しました。当日は松井廣道団長以下39名の団員が参加し、小野寺副団長の指揮により特別点検を行い、団員は規律ある行動で点検に臨んでいました。

点検終了後には、釧路管内消防団員技能競技大会の「自動車ポンプの部」と「小型ポンプの部」に出場する２チームによる訓練展示を実施し、日ごろの訓練成果を披露しました。





第50回釧路北部消防事務組合総合演習

令和６年５月19日、標茶町で第50回釧路北部消防事務組合総合演習を実施しました。

演習には、組合内３町村から職団員約190名、消防車両合計16台が集結し、観閲式や分列行進、模擬火災訓練を行い、旧標茶中学校跡地で実施した模擬火災訓練では、サイレンの吹鳴とともに消防車両が現場に出動し、消防団員が次々とホースを延ばし放水を行いました。

この訓練を通じて組合内消防団の連携を深めるとともに、技術向上と士気高揚を図ることが出来ました。

消防イベント　弟子屈消防署・標茶消防署・鶴居消防署

川湯保育園防災教室　弟子屈



令和６年10月17日、新築された川湯保育園で防災教室を行いました。幼少期から防災意識を育て、災害時に落ち着いて行動ができるようになることを目的に開催しました。当日は発煙機を使用し、煙の中から誘導灯の見え方や避難姿勢について学んだ後、実際に煙の中から園児同士協力しながら避難してくることができました。防災教室終了後、園児に修了証と防災啓発用品を配布し、防災意識を向上させる活動を行いました。



防　火　祭　標　茶

令和６年７月28日、標茶町駒ヶ丘公園にて「子どもの夢を育てるまつり」に併せ「令和６年標茶消防署防火祭」を開催しました。今回の消防ブースは啓発用品の配布、車両展示、放水体験、ミニ消防車試乗、ちびっこレスキュー（ロープ渡過）を行いました。天気が悪いなか多くの子供たちが参加し、大盛況となりました。

消防キッズフェア　鶴　居

令和６年７月15日、「第９回消防キッズフェア」を開催しました。例年とは内容を変更し、より消防に触れてもらえるように放水体験、ロープ渡過体験などを追加し、子どもたちに楽しみながら消防や防災を身近に感じてもらうことができました。また、来場した子ども達には夏の暑さ対策にミストファンを配布し熱中症予防も呼びかけました。





ふるさと祭り　鶴　居

令和６年９月23日、「鶴居村ふるさと祭り」に参加しました。鶴居消防署からは消防体験コーナーを出展し、鶴居消防団からはふるまい餅コーナーを出店しました。多くの方々に防火衣着装体験や放水体験、餅つきを体験してもらうことができ、楽しみながら消防に触れあってもらうことができました。

女性防火クラブ街頭啓発広報　標茶



標茶女性防火クラブでは、炊き出し訓練や視察研修、防火訪問、救急講習などの様々な活動を毎年行っています。令和６年12月20日には街頭啓発広報を行い、街の人に火災予防を呼びかけ、地域住民の火災予防の意識付けとして大きく貢献しています。

女性消防部による単身高齢者宅の防火査察　鶴居

鶴居消防団女性消防部は、令和６年11月４日に単身高齢者宅の防火査察を実施しました。

鶴居市街地区を対象に訪問し、一人ひとりに手作りの『うちわ』と防火についてのチラシやティッシュを手渡し、火災予防を呼びかけました。



消防予算の執行状況

令和５年度 決算の概要

歳入　1,002,505,007円

歳出　987,563,570円



令和５年度釧路北部消防事務組合の歳入歳出決算額は上記のとおりであり、主な内容は次のとおりです。

歳入　歳入予算額 1,003,713,000円に対して決算額は1,002,505,007円となっており、歳入の主たる財源は、構成町村からの負担金874,262,000円で全体の87.2％を占め、組合債が97,000,000円で9.7％、繰越金が13,626,906円で1.3％、国庫支出金が10,145,000円で1.0％、諸収入が3,603,501円で0.4％、道支出金が1,980,000円で0.2％、他は手数料・財産収入等で1,887,600円、0.2％となっています。

歳出　歳出予算額は歳入予算額と同額であり、決算額は987,563,570円で98.4％の執行率となっています。主な内容は消防署、消防団、消防施設、設備等に要した経費が822,496,438円で全体の83.3％を占め、公債費（庁舎建設等に係る起債償還等）45,332,136円で4.6％、さらに消防本部の運営に要した経費等が119,734,996円で12.1％となっており、歳入歳出差引不用額14,941,437円は令和６年度予算へ繰越されました。

各項目及び構成町村別の決算内容は次の表のとおりです。

令和５年度 歳入決算費目別内訳

（単位：千円・％）

費目＼区分		予算額	決算額	収入率
分担金及び負担金		874,262	874,262	100.0
内訳	弟子屈町	389,818	389,818	100.0
	標茶町	300,555	300,555	100.0
	鶴居村	183,889	183,889	100.0
使用料及び手数料		126	124	98.4
国庫支出金		10,145	10,145	100.0
道支出金		1,980	1,980	100.0
財産収入		1,765	1,763	99.9
繰越金		13,626	13,627	100.0
諸収入		4,609	3,604	78.2
組合債		97,200	97,000	99.8
計		1,003,713	1,002,505	99.9

令和５年度 歳出決算費目別内訳

（単位：千円・％）

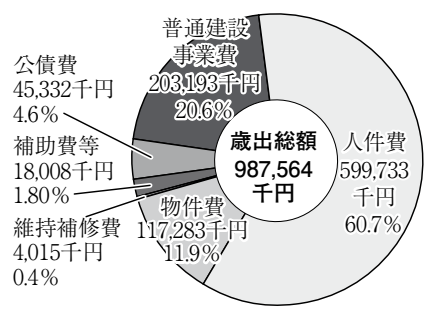
費目＼区分	予算額	決算額	執行率
議会費	598	545	91.1
総務管理費	120,094	118,593	98.8
監査委員費	620	597	96.3
消防署費	631,612	621,455	98.4
消防団費	62,082	57,995	93.4
消防施設費	143,064	143,047	100.0
公債費	45,343	45,332	100.0
予備費	300	0	0.0
計	1,003,713	987,564	98.4

令和５年度の主な事業

（単位：千円）

事業名	事業費	施設・設備・配置場所
災害対応特殊救急自動車購入事業	35,200	標茶消防署 高規格救急自動車及び艤装費
消防救急デジタル無線更新事業	9,680	弟子屈消防署、川湯支署、標茶消防署、鶴居消防署消防救急デジタル無線更新整備基本設計、実施設計
組合通信業務共同化システム統合事業	21,604	弟子屈消防署、川湯支署、標茶消防署、鶴居消防署通信指令システム機器更新・拡張
人事評価システム導入事業	3,190	消防本部　人事評価システム導入
情報セキュリティー構築事業	4,888	弟子屈消防署、川湯支署、標茶消防署、鶴居消防署情報セキュリティ-構築
釧路北部消防事務組合創設50周年記念事業	1,104	消防本部 組合創設50周年記念式典の開催
水槽付消防ポンプ自動車更新事業	93,500	弟子屈消防署 水槽付消防ポンプ自動車
消防団員安全装備品更新事業（防火衣一式）	18,150	弟子屈町消防団 消防団員防火衣一式購入（100着）
標茶消防署側溝補修工事	5,676	標茶消防署　グレーチングの変形やU字溝の破損及び側溝全体の補修工事
消防用ホース購入事業	1,419	標茶消防署　消防用ホース購入（30本）
職員用防火衣購入事業	5,051	鶴居消防署 職員用防火衣一式購入（16着）
事務用パソコン購入事業	871	鶴居消防署　パソコン（4台）
下幌呂消防部サイレン当改修事業	2,860	鶴居消防団 下幌呂消防部サイレン塔改修
計	203,193	

令和５年度 歳出決算費目別内訳



令和６年度 採用職員紹介



氏　名　阿部竜之介
年　齢　19歳
出身地　釧路市
勤務先　弟子屈消防署

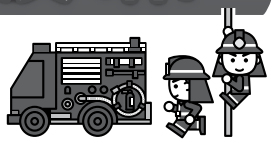


氏　名　加藤　俊希
年　齢　19歳
出身地　標茶町
勤務先　標茶消防署



氏　名　赤石　望夢
年　齢　23歳
出身地　厚岸町
勤務先　鶴居消防署

令和6年 弟子屈町・標茶町・鶴居村の火災概要
建物火災9件、車両火災6件、その他火災4件!

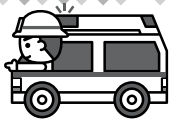


◆令和６年中の火災発生状況と前年の対比表

令和６年１月から12月中の弟子屈町・標茶町・鶴居村管内における火災件数は前年に比べ１件増加しています。

年別(令和)	区分	総出火件数(件)	建物火災件数(件)	車両火災件数(件)	林野火災件数(件)	その他の件数(件)	焼損面積等 建物(㎡)	車両(台)	その他	死傷者数(人) 死者	負傷者	り災世帯数(世帯)	損害額(千円)
６年中	弟子屈町	4	2	2	0	0	1(表) 25(床)	2	0			2	586
	標茶町	14	7	4	0	3	417(表) 382(床) 11(a)	4	0			7	27,461
	鶴居村	1	0	0	0	1	14(a)	0	0			0	0
	計	19	9	6	0	4	418(表) 407(床) 25(a)	6	0			9	28,047
５年中	弟子屈町	8	4	0	0	4	1(表) 629.04(床)	0	0.52(a)	1	1	4	10,824
	標茶町	9	2	4	0	3	243(床)	4	0			2	33,451
	鶴居村	1	0	0	0	1	0	0	0			0	0
	計	18	6	4	0	8	1(表) 872.04(床)	4	0.52(a)	1	1	2	44,275

令和6年中の救急出動件数は1,004件、ドクターヘリ出動39件



令和６年中における救急出場件数は1,004件で前年に比較すると104件減少し、搬送人員は933人で前年よりも110人減りました。このことは、弟子屈町・標茶町・鶴居村管内で1日当たり約2.8件の救急事故が発生し、町村民約17人に１人が救急隊によって搬送されていることになります。また、搬送人員を事故種別で見ると、急病478人（前年比−118人）、転院搬送213人（前年比−14人）、一般負傷151人（前年比+25人）で、この３種別が上位を占めており、その他（火災・水難・労働災害・運動競技・交通事故・自損行為・加害・その他）91人となっています。急病と転院搬送数が減少し、一般負傷による件数が増加しました。また道東ドクターヘリの運航状況については令和６年中の総出動件数は167件、当組合管内では出動は39件、ドクターヘリでの搬送は27人となっています。

▶救急出動件数及び搬送人員の推移

	６年救急出動件数（５年救急出動件数）		６年搬送人員（５年搬送人員）	
弟子屈町	527件（521件）	合計 1,004件（1,108件）	497人（501人）	合計 933人（1,043人）
標茶町	341件（401件）		316人（371人）	
鶴居村	136件（186件）		120人（171人）	

	6年ドクターヘリ出動件数（5年出動件数）※ドクターヘリが着陸し活動した件数		6年ドクターヘリ搬送人員（５年搬送人員）	
弟子屈町	19件（9件）	合計 39件（33件）	16人（8人）	合計 27人（27人）
標茶町	16件（15件）		7人（13人）	
鶴居村	4件（9件）		4人（6人）	

釧路北部消防事務組合職員数
令和7年1月1日現在

所属	職員数	内救命士
消防本部	8	5
弟子屈	32	18
標茶	26	13
鶴居	16	10
合計	82	46

令和６年度 救急救命士 国家試験合格者紹介

氏　名　熊谷　雄斗
拝　命　平成27年４月１日
出身地　釧路市
勤務先　標茶消防署



令和6年度 全国統一防火標語　**守りたい　未来があるから　火の用心**

Topics トピックス

道東地区消防職員意見発表会に出場



令和７年１月17日、北見市で第49回道東地区消防職員意見発表会が開催され、釧路管内の代表として標茶消防署の藤川峻輔消防士が出場しました。「消防団員と共に災害に強い町へ」と題して、減少傾向にある消防団員に着目し、団員を増加させるためSNSを活用し若年層に消防団員の魅力を伝えるといった新たな募集活動を提案し発表しました。惜しくも全道大会へ進出とはなりませんでしたが、今後この提案が実現し消防団の入団促進に繋がることが期待されます。

防火パークゴルフ大会



令和６年10月18日、川湯パークゴルフ場にて「防火パークゴルフ大会」を開催しました。大会は防火・防災への意識向上や健康促進、地域住民との交流を深めることを目的とし毎年開催しています。パークゴルフの終わりに消防職員による消火器の取扱訓練を行い、地域住民と共に防火意識の向上を図りました。

第５回鶴居村防火標語が決定



令和２年度から開始した鶴居村防火標語の募集、掲示を引き続き実施しました。防火標語の募集に対し、村民の皆様からたくさんの作品の応募があり、その中から上位５作品を選出しました。第５回の防火標語には鶴居小学校の児童２名、幌呂中学校の生徒１名、鶴居中学校の生徒２名の作品が選ばれました。最優秀作品に選ばれた大沼諒真（おおぬまりょうま）さんの標語はターポリン幕で村内３カ所（道道53号線沿いらっくりん前、幌呂小学校前、下幌呂消防部詰所前）に設置しました。入選作品は火災予防広報イベントなどで活用していきます。

受賞作品は以下の通りです。

- **最優秀作品**

『気のゆるみ　大きな火事への　導火線』
鶴居中学校２年生　大沼　諒真 さん

- **優秀作品**

『「消えたはず」「消したつもり」が　火の元に』
幌呂中学校２年生　上田　美月 さん

- **佳　　作**

『思い出す　家族の笑顔と　つけた火を』
鶴居中学校２年生　中野　にこ さん

『意識しよう　防火の言葉　火災ゼロ』
鶴居小学校６年生　藤原　叶多 さん

『あたりまえ　目をはなすなら　火を消して』
鶴居小学校６年生　中野　　平 さん

少年消防クラブ視察研修



令和６年８月５日、磯分内少年消防クラブはたんちょう釧路空港で視察研修を行いました。空港内の一般人は入室することができない貴賓室を見学し、空港内に配備されている消防隊では空港用化学消防車に体験乗車しました。また隣接する海上保安部釧路航空基地では、救難ヘリコプターの見学、機動救難隊の資器材説明や潜水装備の装着、要救助者役として吊り上げ救助体験をさせて頂きました。クラブ員にとって、このような貴重な体験ができたことは良い思い出となり、とても有意義な研修となりました。

防火ぬりえ展示会



秋の火災予防運動期間中において幼年消防クラブ（認定こども園ましゅう）ぞう組園児による「防火ぬりえ展示会」を弟子屈町公民館で行いました。来館された方々に園児が作成した消防車や救急車等のぬりえを見て頂き、多くの町民に防火啓発を呼び掛けることができました。幼年消防クラブでは初の試みでしたが、地域住民の火災予防の意識付けとして大きく貢献することができました。

消防長査閲



令和６年９月25日、標茶消防署で消防長査閲が行われ、建物火災が発生し屋内に複数の要救助者がいることを想定した検索救助訓練を実施しました。隊員は防火衣を着装し視界が制限された複雑で狭い室内に進入、限られた時間内に要救助者を素早く検索し屋外へ救助するといった内容で、日常訓練で培った検索方法や救助技術の訓練成果を披露しました。今後も人命救助のため、迅速な活動ができるよう日々の努力を怠ることなく訓練していきます。

令和６年12月13日、鶴居消防署において消防長査閲が行われました。査閲では実際に出動した救急事案をもとにした活動訓練を実施。傷病者の状態に合った活動が出来ているかや隊の連携が取れているかなど日頃の訓練成果を消防長に確認していただきました。より良い活動を行うことを目指し今後も様々な事案に対応できるように訓練を行っていきます。



緊急援助隊北海道・東北ブロック合同訓練



令和６年11月２日～11月３日、秋田県秋田市にて巨大地震を想定した「令和６年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練」が開催されました。釧路北部消防事務組合からは後方支援小隊として２名が苫小牧市消防本部に北海道隊として集結後、被災地想定に設定された宿営拠点で後方支援活動を行いました。

今回の訓練では消防機関からは217隊794名がかけつけ、北海道からは22隊87名が参加し、各隊の連携と緊急時の行動を確認しました。

釧路管内消防事務組合連絡協議会救助訓練



令和６年６月27日、釧路東部消防組合釧路消防庁舎にて当組合と釧路東部消防組合とで合同救助訓練を実施しました。当日は各町村長が訓練を見守る中、日頃の訓練の成果を存分に発揮し鍛え抜いた技術、息の合った連携を披露し合いました。

北海道消防防災ヘリ合同山岳救助訓練



令和６年11月８日に標茶町駒ヶ丘公園（軍馬山）において、北海道消防防災航空隊と相互連携強化を目的とし標茶消防職員21名、防災航空隊員６名が参加し合同山岳救助訓練を実施しました。訓練内容は近年登山者や山菜取り等で入山する人が多いことから、山岳で滑落し動けない傷病者を救助隊が急傾斜地からロープによる引上げ救出を行い吊り上げ地点まで搬送、上空で待機する防災ヘリにより吊り上げ救助し機内収容後、標茶防災センターヘリポートで待機する救急隊へ傷病者を引き継ぐまでの活動を実施しました。

建設業協会合同訓練

鶴居消防署では令和６年11月26日、河川における水害を想定した合同訓練を実施しました。鶴居村と鶴居村建設業協会は災害時の対応について応援協定を結んでおり、各組織の連携強化を目的として消防署が企画進行を行い定期的に訓練を実施しています。今回の合同訓練は３回目となり、訓練には役場職員、建設業協会、消防職団員の総勢約50名が参加し、土嚢積みなど３種類の基本的な水防工法を行なった他、建設機械（重機）を使用した大型土嚢の作成や作業活動時の注意点などを確認し有意義な訓練となりました。





弟子屈署水難救助隊・海上保安庁と合同潜水訓練



令和６年９月17日、弟子屈消防署水難救助隊と第１管区海上保安本部釧路航空基地に配置された機動救難士が屈斜路湖で合同潜水訓練を実施しました。機動救難士との合同潜水訓練は初めてであり、訓練を通じ、お互いの技術や知識を共有し関係機関との連携強化や救助能力向上を図ることが出来ました。

消防団員技能競技大会

令和６年９月14日、釧路市愛国訓練場にて「第68回釧路管内消防団員技能競技大会」が開催されました。「自動車ポンプの部」に出場した鶴居消防団第１分団（小林弘昌、寺島圭亮、西村豪祐、辻田泰貴、増子健人）と「小型ポンプの部」に出場した鶴居消防団（片渕幸雄、山村匡男、松井宜樹、鈴木翔太）チームがともに準優勝しました。





車両配備

屈斜路1



令和６年９月30日に、弟子屈町消防団第３分団（屈斜路部）に新消防車両が納入されました。33年使用された車両から更新された新車両は雪道や悪路に強い四輪駆動式ＡＴ車で水を2,000Ｌ積載し、エンジンカッターやチェンソー等の救助資器材も配備され、多種多様化する様々な事案での活躍が期待されます。

久著呂1



令和６年11月12日に、標茶消防団久著呂消防部に新消防車両が納入されました。31年使用された車両から更新された新車両は走行性能が優れたＡＴ車を採用し、積載している小型動力ポンプは電動油圧昇降装置に搭載されており、低所から容易に取り出すことが可能で、現場での迅速な火災活動への活躍が期待されます。

消防人に栄えある受章　令和６年度 定例表彰

令和６年度の消防定例表彰が各関係機関から授与されました。この受章は永年、消防・防災活動に従事され、地域防災の発展と住民の生命・身体・財産の保全に尽くされた功績が高く評価されたものであります。今後、さらに消防職団員が地域の方と連携し防災活動に尽力されますよう期待します。

今年度の受章者は次のとおりです。

（勤続章は20年以上　順不同、敬称略）

◎令和６年春の叙勲
瑞宝単光章



菊地　哲男 氏（写真左）

◎令和６年秋の叙勲
瑞宝単光章



麻野　孝行 氏（写真右）

◎内閣総理大臣表彰
自治体消防制度75周年記念



藤田　茂 氏（写真左）

◎消防庁長官表彰

功労章〈１名〉

鶴居消防団	団長	松井　廣道

永年勤続功労章〈３名〉

弟子屈町消防団	副分団長	佐野　克彦
標茶消防団	分団長	橋本　寛
標茶消防団	副分団長	森田　利和

◎北海道知事表彰

勤続章30年〈４名〉

標茶消防団	部長	鈴木　重充
弟子屈消防署	消防司令	宮崎　貴親
標茶消防署	消防司令補	田中　稔
鶴居消防署	消防司令	早川　宜志

勤続章20年〈８名〉

弟子屈町消防団	団員	金子　高志
標茶消防団	部長	気仙　昌樹
標茶消防団	部長	河合　義彦
鶴居消防団	分団長	片渕　幸雄
鶴居消防団	団員	伊豆原泰平
鶴居消防団	団員	寺島　圭亮
鶴居消防団	団員	志村　剛
標茶消防署	消防司令補	佐々木亮太

◎日本消防協会長表彰

精績章〈３名〉

弟子屈町消防団	副団長	佐々木英勝
弟子屈町消防団	副団長	白山　義信
弟子屈町消防団	分団長	作田　幸久

勤続章〈７名〉

弟子屈町消防団	部長	粥川　裕光
弟子屈町消防団	団員	松田　朋史
標茶消防団	分団長	小渡　幸次
標茶消防団	部長	大谷　正志
標茶消防団	班長	山崎　貢
弟子屈消防署	消防司令	宮崎　貴親
標茶消防署	消防司令補	田中　稔

◎北海道消防協会長表彰

特別功績章〈２名〉

弟子屈町消防団	班長	佐々木光司
標茶消防署	消防司令	髙橋　勝

功績章〈４名〉

弟子屈町消防団	副分団長	古瀬　公一
標茶消防団	副分団長	野田　雄一
標茶消防団	部長	山本　政弘
標茶消防署	消防司令補	鈴木　利弘

勤続章30年〈８名〉

弟子屈町消防団	部長	粥川　裕光
弟子屈町消防団	団員	松田　朋史
標茶消防団	分団長	小渡　幸次
標茶消防団	班長	山崎　貢
弟子屈消防署	消防司令	宮崎　貴親
標茶消防署	消防司令補	田中　稔
鶴居消防署	消防司令	加藤　博由
鶴居消防署	消防司令	早川　宜志

勤続章20年〈11名〉

弟子屈町消防団	団員	金子　高志
標茶消防団	部長	河合　義彦
標茶消防団	部長	坪岡　始
標茶消防団	班長	岡村　斉
標茶消防団	団員	関　貴幸
鶴居消防団	団員	寺島　圭亮
鶴居消防団	団員	志村　剛
鶴居消防団	団員	藤原　雅敏
弟子屈消防署	消防司令補	佐々木真吾
標茶消防署	消防司令補	佐々木亮太
鶴居消防署	消防司令補	堀口　翔太

◎消防協会釧路地方支部長表彰

勤続章45年〈１名〉

標茶消防団	副団長	三島木洋一

勤続章35年〈４名〉

弟子屈町消防団	副分団長	古瀬　公一
弟子屈町消防団	部長	金澤　賢二
弟子屈町消防団	班長	瀬原　栄一
標茶消防団	副分団長	野田　雄一

勤続章25年〈５名〉

弟子屈町消防団	部長	髙橋　広幸
弟子屈町消防団	部長	濱野　雅彦
弟子屈町消防団	団員	深谷　和明
標茶消防団	分団長	倉内　秀和
鶴居消防団	団員	松井　宏篤

◎全国消防長会永年勤続功労者表彰

消防本部	消防司令	髙橋　行
弟子屈消防署	消防司令	猿田　正和
鶴居消防署	消防司令	加藤　博由

◎釧路北部消防事務組合長表彰

勤続章40年〈１名〉

弟子屈町消防団	班長	佐々木光司

勤続章30年〈４名〉

弟子屈町消防団	部長	粥川　裕光
弟子屈町消防団	団員	松田　朋史
標茶消防団	分団長	小渡　幸次
標茶消防団	班長	山崎　貢

勤続章20年〈６名〉

標茶消防団	部長	河合　義彦
標茶消防団	部長	坪岡　始
標茶消防団	班長	岡村　斉
標茶消防団	団員	関　貴幸
鶴居消防団	団員	寺島　圭亮
鶴居消防団	団員	志村　剛

模範章皆勤10年〈１名〉

標茶消防団	副分団長	菊地　映司

技能競技大会20回以上出場〈１名〉

弟子屈町消防団	部長	髙橋　広幸

弟子屈町消防団長 藤田　茂 氏 勇退



弟子屈町消防団長、北海道消防協会理事としてご活躍されました藤田茂氏が57年勤続を経て、令和７年３月31日付で職を退かれました。

氏は、多年にわたる消防への功労を称えられ消防庁長官功労賞、消防功労者総務大臣表彰、そして内閣総理大臣より内閣総理大臣表彰を授与されるなど様々な表彰を受章しております。

消防団長就任以降、地域防災力の充実強化を図り、地方公共団体職員の入団促進など、地域防災への協力体制強化に尽くされました。さらに、少子高齢化や消防団員減少による消防力低下を防ぐ為、優れた統率力と決断力で団員の信望を集め、令和３年４月に１町２団を１団に統合させ「弟子屈町消防団」を発足し初代団長に就任。消防団組織の再編、近代化に貢献し多大な功績を残されました。



釧路北部消防事務組合
ホームページ　http://kushirohokubu.com/
フェイスブック　https://www.facebook.com/kushirohokubu/
ホームページのQRコードはコチラ➡